

第 84 回 実践勉強会レポート

特別講演

『当院におけるウイルス性肝炎治療の現状(B型・C型慢性肝炎)』

演者：東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

助教 篠原 美絵 先生

参加者 109 名

質疑応答

Q：HVN、VIX は高額である。エレルサ・グラジナについては 14 日処方制限があるのに 28 錠包装しかない。脱落するパターンはあるのか？

A：28 錠包装しかない事を知らなかった。副作用は少なく、脱落するケースは少ないと思う。医師としては同じ調剤薬局に行くように指導している。

Q：今治療が必要な患者とはどんな患者か？

A：エレルサ・グラジナが必要で待機していた患者は、血圧が高い患者など、難しい患者です。

CM で見たという患者や、開業医からの紹介の患者が多い。将来的には多剤耐性が出来てしまった患者に対してどういった治療薬を選択するかが問題。IFN 併用の治療も今後必要になる可能性があると考えている。

Q：今でも IFN が必要な患者

A：HCV は殆ど必要ないが、HBV 患者においては核酸アナログと IFN の併用する治療が必要であると考えているのでまだまだ必要な薬剤だと考えている。